

決算説明会補足資料

|                 | 2017年3月期<br>2016年4月～2017年3月  | 2018年3月期<br>2017年4月～2018年3月   | 2019年3月期<br>2018年4月～2019年3月   | 2020年3月期<br>2019年4月～2020年3月   | 2021年3月期<br>2020年4月～2021年3月  | 2022年3月期(予測)<br>2021年4月～2022年3月  |
|-----------------|--|---|---|---|--|--|
| 業績              | 売上高 88,300<br>営業利益 5,862<br>経常利益 5,834<br>当期純利益 2,716<br>総資産 88,345<br>純資産 49,196  | 売上高 94,601<br>営業利益 5,399<br>経常利益 5,410<br>当期純利益 2,538<br>総資産 91,866<br>純資産 54,854   | 売上高 97,813<br>営業利益 5,761<br>経常利益 5,869<br>当期純利益 3,060<br>総資産 95,207<br>純資産 56,478   | 売上高 98,808<br>営業利益 5,581<br>経常利益 5,670<br>当期純利益 3,064<br>総資産 91,868<br>純資産 57,586   | 売上高 88,224<br>営業利益 5,313<br>経常利益 5,652<br>当期純利益 3,234<br>総資産 95,208<br>純資産 61,076  | 売上高 105,000<br>営業利益 6,500<br>経常利益 6,500<br>当期純利益 3,600   |
| 連結              | ROS:売上高営業利益率 6.6%<br>ROA:総資産経常利益率 6.8%<br>ROE:自己資本純利益率 6.6%  | ROS 5.7%<br>ROA 6.0%<br>ROE 5.7%  | ROS 5.9%<br>ROA 6.3%<br>ROE 6.4%  | ROS 5.6%<br>ROA 6.1%<br>ROE 6.2%  | ROS 6.0%<br>ROA 6.0%<br>ROE 6.3%   | ROS 6.2%<br>ROA -<br>ROE 6.6%  |
| 業績              | 売上高 37,962<br>営業利益 1,015<br>経常利益 2,466<br>当期純利益 2,042<br>総資産 57,223<br>純資産 37,883  | 売上高 40,843<br>営業利益 1,344<br>経常利益 3,085<br>当期純利益 2,541<br>総資産 61,525<br>純資産 42,976   | 売上高 42,769<br>営業利益 1,815<br>経常利益 3,614<br>当期純利益 3,054<br>総資産 63,113<br>純資産 45,051   | 売上高 41,655<br>営業利益 1,869<br>経常利益 3,687<br>当期純利益 1,778<br>総資産 60,533<br>純資産 44,438   | 売上高 35,516<br>営業利益 1,466<br>経常利益 3,188<br>当期純利益 2,652<br>総資産 65,739<br>純資産 48,140  | 売上高 40,000<br>営業利益 -<br>経常利益 3,200<br>当期純利益 2,700  |
| 個別              | 輸出売上 2,164<br>比率 5.7%  | 輸出売上 2,440<br>比率 6.0%   | 輸出売上 2,153<br>比率 5.0%   | 輸出売上 1,905<br>比率 4.6%   | 輸出売上 1,576<br>比率 4.4%  | 輸出売上 2,700<br>比率 6.8%  |
| 事業環境            | 国内   | 国内  | 国内  | 国内  | 国内   | 国内   |
| 国内              | 自動車業界は、各社の新型車発売の効果により後半販売回復し、全体としては前年を上回る。建材業界は、低迷が続いていた住宅着工件数も回復の傾向。家電業界は、高付加価値品への買い替えにより回復。雇用所得の改善がみられる中、個人消費は持ち直しつつあり、緩やかな回復傾向。   | 自動車業界は、各社の新型車発売の効果もあり堅調に推移し、後半にやや陰りが見えたが全体として前年を上回る。建材業界は、住宅着工件数が前年を下回る。家電業界は、白物家電が好調も、全体としては横ばい。個人消費は、堅調な雇用所得情勢を背景に、緩やかな回復傾向。  | 設備投資が増加し雇用所得環境も改善したこともあり、引き続き緩やかな景気回復傾向が見られる。   | 自動車業界は、消費税増税による購買意欲の低下に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う客足鈍化。建材業界は、住宅着工件数が減少。家電業界は、白物家電の消費税増税前駆け込み需要による反動減と暖冬による影響等で前年度を下回る。設備投資や個人消費は、前半緩やかな回復傾向も、後半になり落ち込み。   | 新型コロナウイルス感染症の影響から輸出、生産、設備投資等を中心に持ち直してきたものの、緊急事態宣言再発出により個人消費が弱含みに転じ、依然として厳しい環境が続く。住宅市場では新設住宅着工件数が減少。自動車市場、家電市場は回復が見られる。   | (上期概況)<br>新型コロナウイルス感染症の影響により個人消費は弱い動き。海外経済の回復を背景とした輸出の増加や設備投資の増加により、緩やかに持ち直す。家電市場は弱い動き。自動車市場は部品供給問題により減産。建材市場では住宅着工件数に持ち直しの動きが見られる。  |
| 米国              | 個人消費、民間設備投資が堅調で景気回復基調。   | 個人消費、民間設備投資が堅調で景気回復が続く。   | 個人消費や民間設備投資を中心に堅調を維持。   | 製造業の弱含みが続く。   | 新型コロナウイルス感染症の影響が続くも、経済対策もあり回復の動きが見られる。   | (上期概況)<br>新型コロナウイルス感染症の影響により一部では厳しい状況が継続したが、持ち直す。  |
| 欧州              | 欧州経済は緩やかに回復しているものの、政策に関する不確実性の影響、地政学的リスクなどの影響等に留意すべき状況が継続。   | 欧州経済は緩やかに回復しているものの、政策に関する不確実性の影響、地政学的リスクなどの影響等に留意すべき状況が継続。  | 内需を中心に底堅く推移。  | 低成長を継続。   | -  | -  |
| アジア             | 景気減速局面にあった中国では、各種政策の効果もあり、景気は持ち直しの動き。  | 中国では輸出の増加を背景に、堅調に推移。  | 米中貿易摩擦などの影響もあり緩やかな減速傾向。   | 米中貿易摩擦の影響を受け景気減速が続く。  | 新型コロナウイルス感染症の影響が続くも、中国では景気が緩やかに回復。   | (上期概況)<br>新型コロナウイルス感染症の影響により一部では厳しい状況が継続したが、中国等では持ち直す。   |
| 売上              | 【コンパウンド】<br>国内塩ビは、電線市場、自動車市場で後半に回復したが、建材市場では原材料価格の下落に伴う製品価格調整の影響もあり、減収。エラストマーは自動車市場の回復、医療、食品分野売上伸長により増収。海外では、中国の電線市場、タイの自動車市場、インドネシアの医療市場で売上を伸ばし、アジア全体として増収。米国では、自動車市場で承認の遅れ等の影響もあり伸び悩みも、電線市場において好調に推移。<br>【フィルム】<br>国内の建築材市場の住宅分野は、リフォーム需要、賃貸及びパワービルダー向けが好調に推移、増収。光学分野は、大手家電メーカーの休関連で後半に量産開始し、増加の兆し。海外は、北米市場における建築材市場が後半やや低調、欧州、中国向けは、後半新規採用による回復の兆しがあるも、減収。<br>【食品包材】<br>業務用増ピラップにおける増ピ回帰の流れが徐々に拡大し好調に推移。中国は代理店と連携した販促活動が奏功し、増収。 | 【コンパウンド】<br>国内塩ビは、建材市場、電線市場、生活資材市場が好調に推移し増収。エラストマーは自動車市場、生活資材市場の拡販により増収。海外では、中国の電線市場、タイの自動車市場、医療市場、インドネシアの医療市場で売上を伸ばし、アジア全体として増収。米国では、自動車市場で承認の遅れ等の影響もあり伸び悩みも、電線市場において好調に推移。<br>【フィルム】<br>国内では、建築材市場の住宅分野は賃貸向けが後半ペースダウンもパワービルダー及びマンション向けが好調に推移し増収。商業施設、公共施設、ホテル等の新設及びリニューアル需要は好調に推移。光学分野では国内外のディスプレイ関係で新規および継続採用により増収。海外では、建築材市場のうち中国向けで新規採用により増収も、北米向けは後半やや低調、欧州向けは苦戦し、全体として減収。電線市場では、自動車用で新規採用もあり堅調に推移も、民生用が低調により横ばい。<br>【食品包材】<br>国内では外食産業及び家庭向け小巻ラップが増加するも、食品スーパー向け業務用ラップ及び仕入商品の販売が低調により、全体として横ばい。中国では業務用ラップの拡販により増収。 | 【コンパウンド】<br>国内塩ビは、電線市場を中心とした首都圏再開発案件の取込及び拡販により増収。エラストマーは自動車市場及び電線市場での拡販により増収。海外では、米国現地法人で自動車市場及び電線市場が低調に推移。中国現地法人では電線市場、タイ現地法人では自動車市場、インドネシア現地法人では自動車市場及び電線市場で増収。結果、海外全体として増収。<br>【フィルム】<br>国内では、建築材市場の住宅分野の住宅着工件数が横ばい。また、顧客の輸出取り扱いの増加により増収。非住宅分野では、オフィスビル、ホテル、公共施設等の新築及びリニューアル等の需要は好調に推移。光学分野では在庫調整影響もあり減収。光学分野では大型案件獲得及び新用途拡販により増収。輸出では、電線市場のアジア非日系顧客向け自動車用製品が堅調に推移し増収。建築材市場では、北米・欧州向けが前年を下回り減収。輸出全体として減収。<br>【食品包材】<br>国内では、外食産業及び家庭向け小巻ラップの拡販が進み増収。業務用ラップは食品スーパーでの鮮魚部門の落ち込みにより減収。また、昨年子会社化したデザイン会社の売上寄与により増収。海外では、北米の建築資材市場向けコンパウンド、欧州及び中国でのインテリアフィルムの販売が減速し減収。 | 【トランスポーテーション】<br>国内では、自動車市場が低調に推移し減収。海外では、ASEANでの自動車市場のコンパウンド販売が堅調も、北米、中国、インド国では市況低迷の影響を受け減収。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>国内では、生活資材市場のチューブ・ホース用コンパウンド販売が堅調。食品包材市場ではラップ製品の拡販が進み増収。海外では、医療市場が堅調に推移するも、ASEAN、北米における生活資材市場でのコンパウンド販売及び中国でのラップ販売が減少し減収。<br>【エレクトロニクス】<br>国内では、エネルギー及び情報通信市場のコンパウンド、光学分野でのフィルム大型案件の売上が前年を下回り減収。海外では、中国の情報通信市場の景気減速によるコンパウンド販売減も、北米におけるエネルギー市場コンパウンド販売増により増収。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>国内では、非住宅市場でのインテリアフィルム新築匠採用等により販売増。また、昨年子会社化したデザイン会社の売上寄与により増収。海外では、タイ国でのコンパウンド販売が増加し増収。 | 【トランスポーテーション】<br>国内では、自動車市場が下期より回復するも、前年の水準には至らず減収。海外では、中国の自動車市場は早期回復し、北米・ASEAN・インド国も7月以降回復基調に転じるも、前年の水準には至らず減収。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>国内では、生活資材市場のメディア・サイン用フィルムの販売が減少するもリケガード及び食品包材市場の業務用ラップ拡販が進み増収。海外では、ASEANでの生活資材、医療市場で販売が増加し増収。<br>【エレクトロニクス】<br>国内では、エネルギー販売の深耕が進むも、エネルギー市場での販売が前年を下回り減収。海外では、北米、タイ国での販売が増加も、インドネシア国のエネルギー市場向け販売が低迷し減収。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>国内では、生活資材市場の塩ビコンパウンド、フィルム拡販が進み増収。海外では、景気回復により米国の住宅市場が好調に推移したことから、コンパウンド・フィルムの拡販が進み増収。 | 【トランスポーテーション】<br>国内では、半導体不足等による減産の影響も、国内・海外ともに自動車市場が回復したことから、コンパウンド販売が増加し増収。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>国内では、生活資材市場の塩ビコンパウンド、メディア・サイン用フィルム及び食品包材市場の業務用ラップ拡販が進み増収。海外では、ASEANでの医療市場向け塩ビコンパウンドの販売が減少も、米国・ASEANで生活資材市場向け塩ビコンパウンドの拡販が進み全体として増収。<br>【エレクトロニクス】<br>国内では、エネルギー市場の拡販が進み増収。海外では、米国・タイ国及び中国での販売増加により増収。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>国内では、住宅・非住宅市場へのコンパウンド・フィルムの拡販が進み増収。海外では、景気回復により米国の住宅市場が好調に推移したことから、コンパウンド・フィルムの拡販が進み増収。 |
| 地域ごとの連結売上高(百万円) | 日本 48,251 54.6%<br>アジア 26,085 29.5%<br>北米 13,111 14.8%<br>その他 854 1.0%<br>計 88,300 100.0%  | 日本 50,742 53.6%<br>アジア 29,274 30.9%<br>北米 13,683 14.5%<br>その他 902 1.0%<br>計 94,601 100.0%   | 日本 53,830 55.0%<br>アジア 31,101 31.8%<br>北米 12,460 12.7%<br>その他 422 0.4%<br>計 97,813 100.0%   | 日本 56,388 57.1%<br>アジア 29,589 29.9%<br>北米 12,436 12.6%<br>その他 396 0.4%<br>計 98,808 100.0%   | 日本 50,561 57.3%<br>アジア 26,075 29.6%<br>北米 11,272 12.8%<br>その他 317 0.3%<br>計 88,224 100.0%  | 日本 26,509 52.0%<br>アジア 16,704 32.8%<br>北米 7,461 14.6%<br>その他 291 0.6%<br>計(上期実績) 50,965 100.0%   |
| 利益              | 【コンパウンド】<br>生産性の改善及び海外需要の確実な取り込みも、為替の影響により減収。<br>【フィルム】<br>合理化施策による生産性改善と、光学分野では新製品販売により損失は縮小するも、全体としての黒字化には至らず。<br>【食品包材】<br>国内は生産性改善及び仕入商品の採算は正等により、増益。中国現地法人は生産合理化により増益。  | 【コンパウンド】<br>原材料価格の改定に伴う製品価格調整の影響もあり、減益。<br>【フィルム】<br>光学分野での数量増加により損失を縮小するも、全体として黒字化には至らず。<br>【食品包材】<br>原材料費、物流費等の費用増により減益。  | 【コンパウンド】<br>生産性改善及び販売数量増加により増益。<br>【フィルム】<br>生産性向上の寄与もあり増益。<br>【食品包材】<br>原材料価格改定に伴う、製品価格調整遅れにより減益。  | 【トランスポーテーション】<br>国内、ASEANでの設備投資等によるコスト増により減益。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>生産性向上の寄与もあり増益。<br>【エレクトロニクス】<br>光学分野での販売数量減により減益。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>国内での高付加価値品の販売増により増益。   | 【トランスポーテーション】<br>市況の回復は見られるも、販売数量減少により減益。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>医療、食品包材市場での販売増加により増益。<br>【エレクトロニクス】<br>抗ウイルスフィルムの販売増加により増益。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>国内の販売低迷により減益。   | 【トランスポーテーション】<br>国内販売増加により増益。<br>【デイルーライフ&ヘルスケア】<br>ASEANでの医療市場向け塩ビコンパウンドの販売減少及び原材料価格高騰により減益。<br>【エレクトロニクス】<br>販売増加により黒字化。<br>【ビルディング&コンストラクション】<br>販売増加により黒字化。  |
| 設備投資(百万円)       | コンパウンド 3,202<br>フィルム 291<br>食品包材 234<br>その他 643<br>計 4,370   | コンパウンド 2,126<br>フィルム 683<br>食品包材 398<br>その他 569<br>計 3,775  | コンパウンド 2,272<br>フィルム 467<br>食品包材 291<br>その他 543<br>計 3,574  | コンパウンド 1,602<br>フィルム 1,310<br>食品包材 210<br>その他 661<br>計 3,785  | コンパウンド 1,651<br>フィルム 490<br>食品包材 263<br>その他 1,274<br>計 3,680   | コンパウンド 1,530<br>フィルム 780<br>食品包材 490<br>その他 1,900<br>計 4,700<br>※メンテナンス含む  |
| 研究開発費           | 1,309 百万円  | 1,396 百万円   | 1,470 百万円   | 1,448 百万円   | 1,440 百万円  | 1,600 百万円  |
| 特記事項            | 3か年中期経営計画1年目。<br>RIKEN VIETNAM CO., LTD.新工場稼働。<br>RIKEN ELASTOMERS CORPORATION増設工場稼働。<br>上海理研新材料有限公司増設増設工場稼働。<br>執行役員制度を導入。<br>監査等委員会設置会社に移行。<br>自己株式の買い取りを実施。(2,229千株、1,218百万円)   | 3か年中期経営計画2年目。<br>RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.増設着工。<br>PT. RIKEN INDONESIA増設着工。<br>RIKEN (THAILAND) CO., LTD.増設着工。<br>北米に販売統括会社として、RIKEN AMERICAS CORPORATIONを設立。<br>転換社債型新株予約権付社債2,830百万円転換。   | 3か年中期経営計画3年目。<br>RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.増設稼働。<br>PT. RIKEN INDONESIA増設稼働。<br>RIKEN (THAILAND) CO., LTD.増設稼働。<br>RIKEN (THAILAND) CO., LTD.増設稼働。<br>「インド」に販売会社RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.を設立。  | 3か年中期経営計画1年目。<br>国内エラストマー設備増設稼働。<br>研究開発センター(蒲田)増設着工。<br>自己株式の取得を実施。<br>自動車窓ガラス用遮熱フィルム「ICE-μ」の事業譲受。<br>転換社債型新株予約権付社債3,545百万円転換及び、455百万円の償還。   | 3か年中期経営計画2年目。<br>研究開発センター(蒲田)増設完了。<br>自己株式2,000千株の売却を実施。<br>RIKEN (THAILAND) CO., LTD.はSCG Chemicals Co.,Ltd.のタイ国内における塩ビコンパウンド事業を一本化。<br>「ACS樹脂」資産譲受。<br>100%連結子会社リケンファブローの合併を決定。<br>(合併予定日:2022年1月1日)   | 3か年中期経営計画3年目。<br>RIKEN (THAILAND) CO., LTD.増設決定。<br>RIKEN VIETNAM CO., LTD.増設決定。<br>東京証券取引所新市場区分「プライム市場」選択。<br>(移行予定日:2022年4月4日)   |

連結業績の推移

単位: 百万円、%、人

|           | 期<br>自<br>至      | 88期                   | 89期                   | 90期                   | 91期                   | 92期                   |
|-----------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
|           |                  | 2016/4/1<br>2017/3/31 | 2017/4/1<br>2018/3/31 | 2018/4/1<br>2019/3/31 | 2019/4/1<br>2020/3/31 | 2020/4/1<br>2021/3/31 |
| 収益性       | 売上高              | 88,300                | 94,601                | 97,813                | 98,808                | 88,224                |
|           | 営業利益             | 5,862                 | 5,399                 | 5,761                 | 5,581                 | 5,313                 |
|           | 売上高営業利益率(ROS)    | 6.6                   | 5.7                   | 5.9                   | 5.6                   | 6.0                   |
|           | 経常利益             | 5,834                 | 5,410                 | 5,869                 | 5,670                 | 5,652                 |
|           | 売上高経常利益率         | 6.6                   | 5.7                   | 6.0                   | 5.7                   | 6.4                   |
|           | 当期純利益            | 2,717                 | 2,538                 | 3,061                 | 3,064                 | 3,234                 |
|           | 当期純利益率           | 3.1                   | 2.7                   | 3.1                   | 3.1                   | 3.7                   |
|           | 1株当り純利益          | 45.85                 | 41.64                 | 47.43                 | 48.11                 | 51.22                 |
| 安全性       | 純資産額             | 49,196                | 54,854                | 56,478                | 57,586                | 61,076                |
|           | 総資産額             | 88,345                | 91,866                | 95,207                | 91,868                | 95,208                |
|           | 自己資本             | 41,974                | 47,173                | 48,942                | 49,710                | 53,741                |
|           | 1株当り純資産          | 723.27                | 735.85                | 753.31                | 788.77                | 852.51                |
|           | 自己資本比率           | 47.5                  | 51.4                  | 51.4                  | 54.1                  | 56.4                  |
|           | 流動比率             | 184.3                 | 185.2                 | 180.8                 | 199.9                 | 205.0                 |
|           | 固定長期適合率          | 70.1                  | 69.5                  | 67.1                  | 64.3                  | 62.9                  |
|           | インバレスト・カバレッジ・レシオ | 50.9                  | 30.8                  | 34.5                  | 39.7                  | 67.0                  |
| 効率性       | 総資産経常利益率(ROA)    | 6.8                   | 6.0                   | 6.3                   | 6.1                   | 6.0                   |
|           | 自己資本当期純利益率(ROE)  | 6.6                   | 5.7                   | 6.4                   | 6.2                   | 6.3                   |
| キャッシュ・フロー | 営業キャッシュフロー       | 6,560                 | 5,671                 | 7,317                 | 8,805                 | 9,387                 |
|           | 投資キャッシュフロー       | △ 4,248               | △ 3,621               | △ 3,232               | △ 2,525               | △ 3,002               |
|           | 財務キャッシュフロー       | △ 1,070               | △ 1,866               | △ 1,562               | △ 5,480               | △ 2,796               |
|           | 現金同等物期末残高        | 14,369                | 14,655                | 17,036                | 17,812                | 21,080                |
| 株 価       | 期末株価             | 532                   | 507                   | 453                   | 385                   | 516                   |
|           | PER              | 11.6                  | 12.2                  | 9.6                   | 8.0                   | 10.1                  |
|           | PBR              | 0.74                  | 0.69                  | 0.60                  | 0.49                  | 0.61                  |
| 配 当       | 1株当り配当金          | 11.00                 | 12.00                 | 14.00                 | 16.00                 | 16.00                 |
|           | 配当性向(連結)         | 24.0                  | 28.8                  | 29.5                  | 33.3                  | 31.2                  |
|           | 純資産配当率(連結)       | 1.6                   | 1.6                   | 1.9                   | 2.1                   | 1.9                   |
| そ の 他     | 設備投資額            | 4,370                 | 3,775                 | 3,574                 | 3,785                 | 3,680                 |
|           | 減価償却費(のれん除く)     | 3,178                 | 3,434                 | 3,657                 | 3,880                 | 3,713                 |
|           | 研究開発費            | 1,309                 | 1,396                 | 1,470                 | 1,448                 | 1,440                 |
|           | 従業員数             | 1,825                 | 1,844                 | 1,882                 | 1,944                 | 1,894                 |

設備投資額内訳

|        | 88期   | 89期   | 90期   | 91期   | 92期   |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| コンパウンド | 3,202 | 2,126 | 2,272 | 1,602 | 1,651 |
| フィルム   | 291   | 683   | 467   | 1,310 | 490   |
| 食品包材   | 234   | 398   | 291   | 211   | 263   |
| その他    | 643   | 569   | 543   | 661   | 1,274 |

セグメント別売上高の推移

※ 2020年3月期よりセグメント区分を変更しております。

セグメント別売上高推移

単位: 百万円

| 期<br>年期 | 88期<br>2017.3 | 89期<br>2018.3 |
|---------|---------------|---------------|
| コンパウンド  | 61,285        | 66,279        |
| フィルム    | 12,205        | 13,057        |
| 食品包材    | 11,369        | 11,481        |
| その他     | 3,439         | 3,782         |
| 連結売上高   | 88,300        | 94,601        |

| 期<br>年期 | 90期<br>2019.3 | 91期<br>2020.3 | 92期<br>2021.3 |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| コンパウンド  | 30,891        | 29,758        | 24,310        |
| フィルム    | 24,249        | 24,308        | 25,037        |
| 食品包材    | 21,149        | 20,883        | 17,430        |
| その他     | 20,853        | 23,290        | 21,033        |
| その他     | 669           | 567           | 412           |
| 連結売上高   | 97,813        | 98,808        | 88,224        |

セグメント別売上比率推移

単位: %

| 期<br>年期 | 88期<br>2017.3 | 89期<br>2018.3 |
|---------|---------------|---------------|
| コンパウンド  | 69.4          | 70.1          |
| フィルム    | 13.8          | 13.8          |
| 食品包材    | 12.9          | 12.1          |
| その他     | 3.9           | 4.0           |
| 連結売上高   | 100.0         | 100.0         |

| 期<br>年期 | 90期<br>2019.3 | 91期<br>2020.3 | 92期<br>2021.3 |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| コンパウンド  | 31.6          | 30.1          | 27.5          |
| フィルム    | 24.8          | 24.6          | 28.4          |
| 食品包材    | 21.6          | 21.1          | 19.8          |
| その他     | 21.3          | 23.6          | 23.8          |
| その他     | 0.7           | 0.6           | 0.5           |
| 連結売上高   | 100.0         | 100.0         | 100.0         |

